

# 農業経営体における障がい者の受け入れの進め方

## 1 まずは体験してみましょう

障がい者の受け入れを、まずは体験してみませんか。形態は、障がい者の雇用、障がい者施設への作業委託があります。



<活用できる主な支援制度>

支援制度	窓口	内容	助成額	実施主体
障がい者農の雇用モデル支援事業(受入体験助成)	(一社)岐阜県農畜産公社	障がい者の受入体験として、農業経営体が障がい者個人に支払う賃金又は福祉事業所に支払う作業委託料金を助成 期間:5日以上30日以内	定額(支払相当額を助成)	農業経営体
岐阜県障がい者チャレンジトレーニング事業	障害者就業・生活支援センター	障がい者の現場実習として、農業者に対し謝金、障がい者に対し手当を支給 期間:10日以内	農業者:1,000円/人・日 障がい者:1,000円/日	農業経営体 障がい者

## 2 本格的に障がい者を受け入れるには

(1) 農業経営体による障がい者の一般雇用(一般就労)

### ●ステップ1<求人募集>

- ・最寄りのハローワークに相談しましょう。ハローワークでは、障がい者を対象とした求人の申込を受け付けています。
- ・特別支援学校の生徒のインターンシップ受け入れや、障害者就業・生活支援センターとの連携も有効です。

### ●ステップ2<試行雇用>

- ・障がい者を試行雇用することにより、その適性や能力を見極め、継続雇用への移行のきっかけとします。

<活用できる主な支援制度>

支援制度	窓口	内容	助成額	実施主体
障害者トライアル雇用助成金	ハローワーク	障がい者の試行雇用に対する助成 期間:原則3か月~6か月以内	4~8万円/月・人	農業経営体

### ●ステップ3<継続雇用>

- ・障がい者を継続して雇用することで、雇用就農者として農業の新たな担い手となります。

<活用できる主な支援制度>

支援制度	窓口	内容	助成額	実施主体
特定求職者雇用開発助成金	ハローワーク	障がい者の継続雇用に対する助成 期間:2~3年	40~80万円/年・人	農業経営体

(2) 農業経営体と障がい者施設の農作業受委託(福祉的就労)

### ●ステップ1<障がい者施設とのマッチング>

- ・ぎふアグリチャレンジ支援センター又は最寄りの農林事務所農業普及課に相談しましょう。農業経営体の委託希望作業と受託可能な障がい者施設とのマッチング支援を行います。

### ●ステップ2<作業受委託契約>

- ・委託作業の量、内容、出来高などから障がい者施設と協議の上、委託料を設定します。
- ・就労継続支援A型事業所との作業受委託契約の場合、最低賃金(時給)以上の支給が基本となります。同B型事業所との場合は、作業量や出来高に応じて障がい者施設との協議により単価を設定することとなります。例えば、時給800円のパートが、1時間に100袋仕上げるができる調製作業の場合、1袋あたり8円とし、事業所が何人で作業しても100袋納品すれば800円と設定する等です。